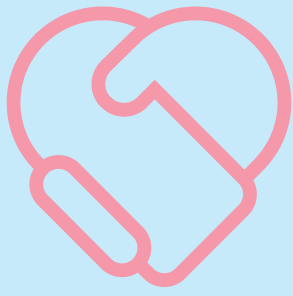


未来をつなぐ



筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
茨城県厚生連 総合病院 水戸協同病院



すまいるみと



水戸協同病院・筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター センター長からのごあいさつ

センター長・教授 渡辺 重行

この度、平成21年4月、水戸協同病院内に筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターが発足いたしました。水戸地域医療教育センターには、4名の教授、5名の准教授、2名の講師が医師・教官として就任し、同時に、11名の医師、研修医が水戸協同病院医師として着任いたしました。これにより、水戸協同病院の医師数は2倍に増員されました。しかも、水戸地域医療教育センターの発足は、日本国内でも他に例のない先進的な試みです。すなわち、特定機能病院として高度医療を担っている筑波大学附属病院と、市中病院として一次・二次医療を支えている水戸協同病院が連携し、民間病院と大学病院医師が協同で診療にあたるという全く新しい診療体制です。これにより、高度医療機関と市中病院のそれぞれが有する医療知識と技術を統合させ、地域医療に大きく貢献することが可能となります。こうして、水戸協同病院は完全に生まれ変わりました。現在、水戸協同病院は水戸協同病院・筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターとして、かつてない活気と活力にあふれた病院へと変化を遂げました。そして、住民の皆様が安心して受診することのできる、高度な医療を提供できるようになりました。

医師数が倍増し、民間病院医師と大学病院医師とが一丸となって協同で診療し、最高水準の医療を提供でき、住民の方々に安心して受診していただけるようになった水戸協同病院・筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターを、どうぞ受診してみてください。きつとご期待にお応えできると確信しております。



筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター開設によせて

病院長 平野 篤

診療体制について

2009年4月全国ではじめて、国立大学のサテライトキャンパスが当院に設置されました。「筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター」です。当院にとって非常に大きな変革です。コンセプトはプライマリケアを重要視し、早期診断、早期治療をめざすこと。各診療科が連携した機能的なチーム医療を実践すること。地域の医療機関との連携を密にして市民病院的な敷居の低い、誰もが気軽に受診できる病院になることです。このセンターは水戸協同病院と一心同体であり、別の建物にあるわけではありません。診察も入院もこれまで通り同じ受付、同じ場所です。これに伴い、大幅に常勤医師が増員されました。新たに循環器内科、呼吸器内科、総合診療科、代謝内分泌・糖尿病内科、リウマチ膠原病内科、腎臓内科、消化器外科、脳神経外科、眼科、麻酔科などの医師が筑波大学から派遣されました。このうち11名が筑波大学所属の教員です。現体制の診療科と協力し患者様本意の最良の医療を提供できますよう努力致します。

今年の当院のテーマは「全員参加型の病院運営」です。医師、看護師だけでなく全ての職員が一致団結して、このセンター誘致の成功に向けて努力いたします。

施設整備について

昨年は本館1階外来の改修により、診察室のプライベート化を図りました。さらに本年4月に脳神経外科外来・救急処置室を新設しました。昨年8月よりオーダーリングシステム（通称COSMOS）が稼働し、皆様の受付や検査、お薬の処方などもより迅速に行えるようになりました。4月より電子カルテ機能を追加してカルテの統一を達成しました。医療機器の整備も進めています。既に最新型のヘリカルCT（64列）を導入しました。これまでに発見できなかった微少な病変まで感知できる素晴らしい機械です。胃カメラなどの

内視鏡システムも最新のものに更新し、経鼻式のファイバーも導入しました。より苦痛の少ない検査を目指していきま

す。骨密度の測定装置も最新鋭のものに変わっております。さらに今年度血管造影装置の最新機種を導入しました。心筋梗塞や不整脈など循環器領域だけでなく、脳神経外科領域の検査治療も可能になります。また眼科の三次元眼底像撮影装置（3D OCT）も導入しました。

これは糖尿病性網膜症などの眼底の病変の診断に非常に有用な機械です。これらを駆使し診療レベルの向上に努めて参ります。6月から2階病棟を約2年半ぶりにオープンしました。最新のモニター設備、ICU用のベッドを装備しました。今後徐々に病床を拡大していく予定です。今夏駐車タワーの撤去など新棟建設のための工事が始まります。皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



循環器内科のご紹介



教授 渡辺 重行

循環器内科は、心臓病や血管の病気、さらにその元となる、高血圧や高脂血症を専門に診断、治療する診療科です。水戸協同病院・筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターの循環器内科は、狭心症、急性心筋梗塞などの虚血性心疾患の急性期治療をはじめ、不整脈、心不全、心臓弁膜症、末梢動脈疾患、肺高血圧症、肺血栓塞栓症、さらに高血圧、高脂血症をはじめとする生活習慣病まで、あらゆる心血管疾患に対応可能であり、しかも、最も高度の診療を提供しております。

それらの疾患に高度な技術をもって対応するため、以下の最新の診療設備を備えております。

- 心臓血管造影アンギオ装置
- 64列心臓CT
- 心臓核医学装置
- 心エコー装置
- トレッドミル運動負荷装置
- エルゴメータ運動負荷装置
- 心肺運動負荷試験用呼気ガス分析装置
- 脈波伝搬速度、ABI測定装置
- 皮膚組織灌流圧(SPP)測定装置
- ホルター24時間心電図検査
- 平均加算心電図装置



これらの設備は、日本のトップレベルの診療機器をほとんど網羅しております。これらを基盤に、そして、筑波大学循環器内科との連携のもと、患者さんにご満足頂ける最新かつ高度な診療を提供、それぞれの患者さんの状態に応じ、最新の技術をもって診断治療にあたっております。十分な経験の下に施行している高度な診断・治療、手術等の主要なものは、以下のとおりです。

- 心臓カテーテル検査
- 経皮的冠動脈インターベンション (ステント留置術)
- 経皮的僧帽弁口連結開術
- 経皮的末梢動脈インターベンション
- ペースメーカー植込み術
- 大動脈内バルーンポンピング
- 冠動脈CT検査
- 運動負荷心電図検査
- 心肺運動負荷試験および運動処方
- 末梢動脈循環検査
- 心臓超音波検査
- 心臓核医学検査

当科の目指す診療は、患者さんに十分な納得と満足をいただける診療の提供です。十分な施設と高度な技術を背景に、患者さんとの会話を重視した診療を心がけております。スタッフ一同が患者さんの心配事や不安に丁寧に対応したいと考えておりますので、気軽に受診にご相談下さい。

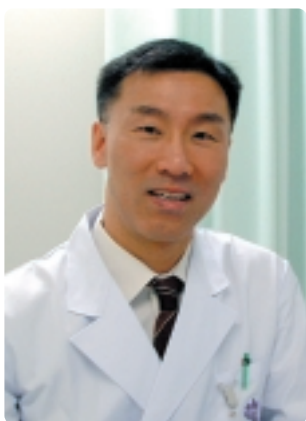
- 医師、スタッフ紹介
- 教授、センター長 渡辺 重行
 - 内科部長 黒田 裕久
 - 循環器内科医師 山本 昌良
 - 非常勤医師 佐藤 明

先生の紹介

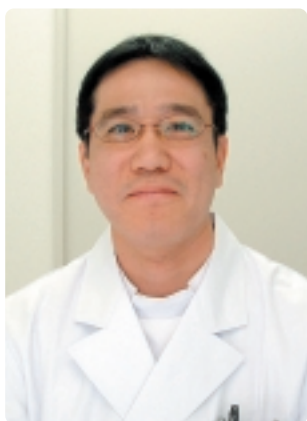
平成21年4月より、水戸地域医療教育センターに赴任した筑波大学教員についてお知らせいたします。



准教授 柴田 靖
脳神経外科



教授 曾根 博仁
内分泌代謝・糖尿病内科



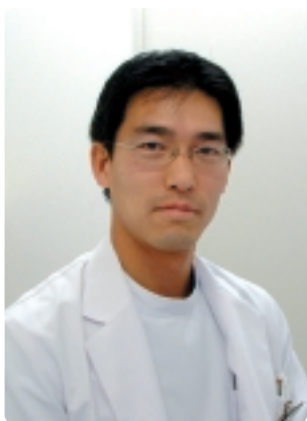
教授 徳田 安春
総合診療科



教授 佐藤 浩昭
呼吸器内科



教授 渡辺 重行
循環器内科 (センター部長)



講師 千野 裕介
リウマチ科



講師 渡辺 基信
消化器外科



准教授 佐藤 正樹
眼科



准教授 近藤 匡
消化器外科



准教授 田口 典子
麻酔科



准教授 小林 裕幸
総合診療科

新規採用者の紹介

医師

腎臓内科 錦 健太
 循環器内科 山本 昌良
 呼吸器内科 籠橋 克紀
 内分泌代謝・糖尿病内科 渡辺 来未
 総合診療科 木下 賢輔
 小松 洋祐
 角田 義弥
 服部 一哉
 神山 健一
 真壁 秀瑛
 島田 信宏
 黒井 信宏
 坂内 唯
 松尾 節子
 吉田 由香里

看護師

秋山 美樹
 山口 憂人
 高野 美穂子
 渡邊 来未
 内山 浩美
 大津 博美
 鈴木 京子
 佐川 京子
 坂田 奈穂子
 柴田 弘美
 渋谷 綾子
 青柳 美由起
 国府田 幸子
 佐々木 恵理香
 松本 明子
 平林 晴香
 千葉 美佳子
 千田 隆広
 古川 陽子
 狩野 由紀子
 野内 栄里
 武士 さやか

准看護師

事務員

真家 徹
 長谷川 博史
 大曾根 清

転入者の紹介

看護師

萩野谷 登志子
 藤澤 直美
 仲根 真理

事務員

薬剤師

診療放射線技師

臨床検査技師

臨床工学士

管理栄養士

大森 めぐみ
 加藤木 孝宏
 上野 幸恵
 木村 整司
 問宮 沙織



(7月1日現在)

血管撮影装置を導入しました

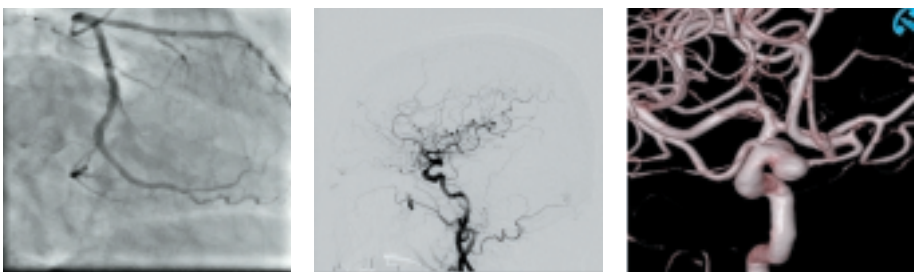
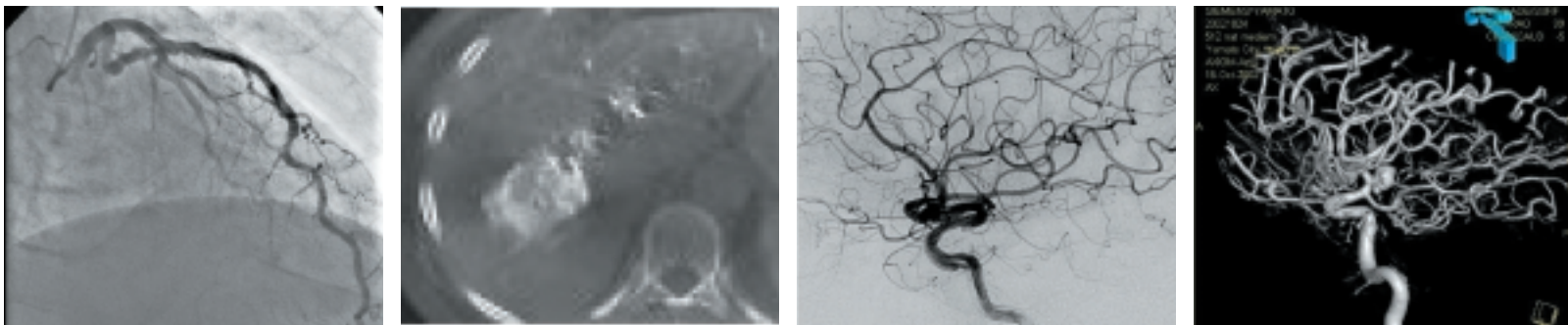
診断・治療の精度の向上のため、血管造影検査・血管内治療に使用する最新の血管撮影装置「AXIOM Artis DBC」(SIEMENS社製)を5月に導入しました。

血管造影検査とは、造影剤を使用して血管の形態や血流状態から動脈あるいは静脈の病変を診断する検査です。足の付け根や腕の血管からカテーテルという直径数mmの管を目的の血管まで挿入し、選択的に特定の血管に造影剤を注入します。

また、血管内治療とは、心筋梗塞などで狭窄してしまった血管を拡張したり、腫瘍を栄養する血管を人為的に閉塞させたりするものです。

今回導入した装置は、バイプレーンシステムであり、フラットパネル検出器を採用しています。バイプレーンは、2方向から同時に撮影すること

が可能です。これにより以前に比較し造影剤の使用量を低減できるようになりました。また、検査時間が短縮され患者様の身体的負担が小さくなります。CTと同様の断層画像や3次元画像の撮影・構成も可能になり、微細な血管病変の診断や複雑な血管走行が短時間で把握でき診断・治療の向上が期待されます。次世代型のフラットパネル検出器は、従来のものに比較し画像歪みがないため、高精細の画像が得られます。狭窄した血管の走行などの描出力が高まり、血管内治療の確実性・安全性をさらに高めることができるようになりました。また、放射線被曝にも十分配慮したシステムであり、高画質を維持しながら被曝を低減



心血管画像

頭部DSA像

血管3D像

アンギオ室の予定表

	月	火	水	木	金	土
午前		循環器内科		放射線科	脳外科	
午後		循環器内科	泌尿器科	循環器内科		

空いている曜日は緊急検査に対応

手術の予定が決まったら

手術の予定が決まったら、皆様、いろいろな不安をお持ちになると思います。病気の事、入院生活、手術、麻酔、などあまり経験が無いことばかりだと思えます。

麻酔科では、手術目的で入院された後、術前診察、麻酔方法の説明を行っております。その際に皆様からよく受ける質問や、できれば入院前に準備していただきたいことを書きたいと思えます。

外来で手術を決定後、術前の検査を行い、入院日を待つわけですが、そのとき考えていただきたいのが、禁煙です。タバコの害は非常に有名ですが、術前にタバコを吸っていると、術後に痰が多くなり、肺炎を起こしやすかったり、心臓への負担が大きくなったり、手術の傷がつきにくいなど、様々な弊害があります。禁煙の期間が長ければ良いほど良いのですが、一日の禁煙でも、効果が無いわけではないので、直前に、今更しかたがないと思わず、一日でも早く禁煙を開始してください。

飲酒に関しては、よく「お酒を飲むのですが、麻酔がかからないことはあるでしょうか？」という質問を受けることがあります。過度の飲酒は肝臓に負担をかけるので、控えたほうが良いのですが、麻酔は個人個人に合わせた調整ができますので、決して麻酔が

かからないということはありません。ご安心ください。

その他、ぐらぐら抜けそうな歯がある方で、時間的、体力的に余裕がある場合、歯科受診をお勧めします。全身麻酔では、処置中に歯に負担がかかることがあります。あらかじめ処置をしておかれると良いでしょう。

術前必要な事柄として、手術が決定した段階で、それまでの既往歴、現在治療中の病気、内服中のお薬を確認すると思います。安全な治療を行うためにも、なるべく漏れなくお伝えください。内服薬のうちでも、特に血圧、心臓のお薬や、血液をサラサラにするお薬などは、お薬によって、早めに中止したり、変更したりする可能性もありますので、漏れがないようにお願いいたします。勿論、薬の内容がお分かりにならない場合は、病院で調べることが出来ますので、そのまま薬をお持ちください。

術前、以上の点に留意していただければ、周術期の安全性が増すと考えられます。手術を受けられる患者様の不安を出来るだけ軽減するよう、そして安全な医療が受けられるよう、麻酔科を含む病院スタッフ一同一丸となつて、最善を尽くします。一緒に病気に立ち向かいましょう。

麻酔科 田口 典子

消化器外科の紹介

水戸地域医療センター設置にともない4月に筑波大学消化器外科からきた近藤匡です。石橋敦先生、渡辺宗章先生、渡辺基信先生らとともに腹部外科診療をおこなっています。筑波大学では胆嚢、胆管の疾患をおもに担当

していましたが、こちらでは消化器がん、胆嚢結石、急性虫垂炎など消化器全般の疾患とソケイヘルニアなどの腹壁の疾患をひろく治療しております。また手術治療以外にも、総合診療科と連携して消化管出血、腸閉塞、胆嚢炎、膵炎、肝膿瘍などの内科的治療もおこなっています。近年、消化器の手術をうけら

地域の救急病院の脳神経外科としては、地域医療と救急医療が重要な任務です。地域の方の脳と神経を守ることが我々脳神経外科医の生きがいです。お気軽にご相談ください。

脳卒中、脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）

日本人の3大死因の一つで、後遺症を残す病気としては最も多いものです。手足に力が入らない、感覚がない、言葉がうまくしゃべれない、物がよく見えないといった症状が急に出現した場合は脳卒中の可能性が非常に高くなります。脳卒中は時間と勝負です。早期に適切に治療することにより、救命でき、後遺症を軽くできます。本院は最新式CTと脳血管造影装置を導入しました。3次元立体画像により、正確に病変を把握し、安全に治療ができます。脳血管内手術にも対応しています。後遺症が残った場合は急性期より専属スタッフによるリハビリを行います。長期療養が必要な場合はリハビリ病

脳神経外科の紹介

院をご紹介したり、在宅医療をお勧めします。福祉などに関しては専属ソーシャルワーカーがご相談に応じます。

また脳卒中は予防できます。本院では脳ドックにも力を入れています。複数の脳神経外科学会専門医により検査結果を検討し、報告します。症状がある方は勿論、症状がなくとも高血圧、家族歴などの危険因子がある方は受診をお勧めします。異常があった方には面談して結果を説明し、必要な追加診療を行います。

脳腫瘍

頭蓋内には様々な腫瘍が発生し、その診断治療は容易ではありません。本院では超電導MRIはもちろん、還流画像、拡散強調画像、核医学検査などの最新の放射線診断機器と画像処理技術を駆使して診断します。必要であれば顕微鏡、電気生理学モニターなどを駆使して精密な手術を行います。さらに必要であれば放射線治療、薬物治療、免疫療法などを行います。外来でも治療を継続できます。より高度な診療を必要とする患者さんには必要に応じて筑波大病院などと連携し、最新の臨

膠原病リウマチ内科

膠原病とは何でしょうか？これを正確に答えられる人は少ないと思います。膠原線維（よくコラーゲンといいますが）の変性とフィブリノイド壊死が認められる疾患群をまとめて膠原病（Collagen disease）と呼び始めたのがきっかけです。日本ではそのまま膠原病という呼び方が定着していますが、どのような疾患を具体的に膠原病と呼ぶのでしょうか？

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群、シェーグレン症候群、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎、混合性結合組織病、血管炎症候群（結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、Wegener肉芽腫症など）、ベーチェット病、成人発症ステイル病、リウマチ性多発筋痛症、HLA-B27関連脊椎関節炎

床治療などを行っています。**頭部外傷（脳挫傷、硬膜下出血など）** 高齢者では軽度の頭部打撲でも頭蓋内出血することがよくあります。頭痛、ふらつき、物忘れなどあれば、早めに受診下さい。短時間の手術で改善します。

重症の脳挫傷や頭蓋内出血に対しては脳圧モニター、低体温療法、開頭手術など最先端の治療と集中管理を行います。

一次性頭痛

片頭痛、緊張型頭痛などは的確な診断が必須です。詳細な問診と必要に応じた検査で診断を行い、薬物治療、生活指導などを行います。鎮痛剤は原因治療ではありません。最近、薬物治療は急速に進歩しており、頭痛によっては特効薬や予防薬があり、個人に合った適切な治療が必要です。本院では頭痛学会専門医による頭痛外来を毎週月・水午前に行っています。脳腫瘍、脳卒中などの鑑別も行います。

脳神経外科 柴田 靖

これらは自己免疫学的な機序による病態形成で知られ、それぞれの疾患および患者さんごとに異なりますが、全身のありとあらゆる臓器障害を合併し得ます。例えば関節リウマチはよく温泉地などでも目にする名前の疾患です。関節炎から関節変形を来すことは皆知っています。以外と知られていない重要な関節外症状として、間質性肺炎という臓器合併症が約3分の1の患者さんに認められることがあります。さらに体に慢性的な炎症を

かかっていると、生命予後さえ悪くなること

リウマチ科 千野 裕介

リウマチ科 近藤 匡

呼吸器内科毎日診療可能です

筑波大学水戸地域医療センターが開設され3か月が経過しようとしています。呼吸器疾患を担当する私どもも他の科の医師同様、地域のみなさまのお役に立つよう努力を続けております。当センターでは、筑波大学において入手可能な国内外の医学雑誌は、全く同じ条件で瞬時に調べることができるようになっております。肺炎、気管支喘息、肺がんなどが私どもの診療の主要な疾患ですが、こうした疾患に対しても学術的裏付けに基づいた質の高い診療を提供できるよう励んでまいります。7月より籠橋克紀医師が診療に加わります。ますます診療を充実させていきたいと考えております。

呼吸器内科 佐藤 浩昭

弘道館「医学館」と水戸地域医療教育センター

江戸時代、水戸藩の九代藩主徳川斉昭公は、水戸藩に医学教育のためのセンターが必要と考え、総合的な医学教育と研究を実施するための「医学館」を弘道館に設けました（天保14年6月。当時の場所は現在の三の丸小学校校舎付近）。この医学館には、斉昭公が医学館開設の趣旨を記した「賛天堂記」の額が掲げられ、この弘道館内医学館からわが国のあるべき医学教育・医療体制を発信したいとする斉昭公の抱負が示されました。賛天堂記の賛天とは、四書の一つである中庸に、「能尽物之性、則可以賛天地之化育（能く物の性を尽くせば、即ち以って天下の化育を賛くべし）」という文の中から斉昭公が二文字を選んだものです。これをわたし流の現代語訳によって、「医師が全人医療に尽くせば社会の健やかな発展に寄与することになる。」という意味にも取れるかと思えます。

とすれば、総合病院水戸協同病院への筑波大学付属病院水戸地域医療教育センターの設置は、わが国のあるべき医学教育・医療体制を発信する使命を担って設立された弘道館内医学館の精神を引き継ぐものであり、当センターでは全人医療に尽くすことのできる医師を養成するための総合診療を中心とした教育



体制が整備されており、斉昭公が遺した賛天堂記から示唆されるように、水戸地域における今後の健やかな発展に寄与することになると思えます。（参考文献：水戸弘道館小史）

総合診療科 徳田 安春

内分泌代謝・糖尿病内科の紹介 — 特に新しい糖尿病診療体制と糖尿病教室について —

糖尿病、メタボリックシンドローム、高脂血症、高血圧、肥満などの生活習慣病と、甲状腺、副腎、脳下垂体などのホルモンの病気を担当し、筑波大学のセンターとして最新の治療を提供しておりますので、精密検査や専門的治療も含めご相談ください。

特に糖尿病の患者さんは、ものすごい勢いで増え続けており、中年以降の日本人の3人に1人に達すると言われています。糖尿病は、血糖値が上がることによって全身の血管がやられ、様々な合併症を引き起こす病気です。日本では、糖尿病のために、毎年3000人が新たに失明し、毎年1万5千人が新たに人工腎臓透析を開始されるという深刻な事態になっています。当院では、このような合併症を防ぐために早期から手厚く診療する体制を整えております。

す。たとえば、目の網膜がやられて視力が低下したり腎臓がやられて手足のむくみが始まりたりしてからは、元の状態に戻すことは困難です。糖尿病は初期に発見して、専門家のアドバイスを受けながら食事療法や運動療法を十分に行い、合併症を起こさないようにコントロールしていくことが最も重要です。当科では薬やインスリン注射だけに頼らず、食事や運動療法、禁煙などの生活習慣は正を重視することにより、生活習慣病の悪化を防ぐようにしています。

新しい糖尿病診療体制について

(1) 糖尿病専門医が筑波大学から新たに赴任し、月曜から土曜まで毎日専門家による外来診療が行われています。

(2) 医師だけでなく、管理栄養士、看護師、薬剤師、臨床検査技師など、糖尿病に詳しい多くの専門スタッフが指導する糖尿病プログラムも新たにスタートしました。

まず健診をうけて糖尿病を早期発見すること、そしてもし見つかったら、決して放っておかないで通院してコントロールすること、それにより、糖尿病の合併症に苦しむ人が少しでも減るように願ってやみません。

水戸協同病院の糖尿病教室の内容の一部

医師より
糖尿病とはどのような病気か、合併症とその対策 など
薬剤師より
血糖を下げる薬とインスリン、低血糖とその対策 など
臨床検査技師より
糖尿病に必要な様々な検査、特に血糖コントロールの検査指標 など
看護師より
日常生活の注意、運動療法と足のケア など
管理栄養士より
食事療法の基礎と実際（どなたでも参加できます）

内分泌代謝・糖尿病内科 曾根 博仁

2 東病棟紹介

2 東病棟 萩野谷 登志子

地域の医療ニーズをとらえ、2 東病棟が内科主に循環器・呼吸器及びICU病棟として平成21年6月より生まれ変わりました。スタッフは、筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター長兼循環器内科教授渡辺重行医師、同大学呼吸器内科教授佐藤浩昭医師、当院（水戸協同病院）循環器内科部長黒田裕久医師を含め、循環器、呼吸器医師5名、看護師13名で運営を始めました。さらに、総合診療科を含む内科系・外科系全医師も支援、運営に加わっております。看護師スタッフの平均年齢は35歳と働き盛りのエネルギーが豊富で、スタッフが配置されております。循環器と呼吸器の専門病院は水戸市内には少なく、地域の中核を担うような病棟運営をスタッフと共に考えております。患者様が地域で安心して暮らして頂けるよう少しでも役に立てればと考えております。特に循環器においては、心臓血管力テール検査や心臓血管内治療がお



こなわれており、患者様・家族様に薬剤指導、栄養指導などスタッフが数多く関わり、多職種協働により、組織横断的なチーム活動をしていくことを考えております。自分の部署だけにこだわらず、他部署とのチームアプローチを展開しながら、患者様・家族様に安心して療養生活を送って頂く為に努力してまいります。また、内部においてはスタッフの教育と接遇の向上に努めてまいります。さらに、患者様とのコミュニケーション能力の向上にむけての勉強会を開き患者様との何気ない会話の中にも患者様の思いや不安を理解し、より物事の本質を見極めよりよい支援が出来るよう私自身も含め日々努力していきたくと考えております。全職種全スタッフ連携を強化し患者様・家族様を支援できるよう努力していきたく考えています。どうぞよろしくお願いたします。



充実した環境で一緒に働きませんか 看護師募集

看護職として必要な知識・技術が習得でき
専門職業人として自己成長できる看護師を育てます。

**再就業
研修**

もう一度一緒に楽しい看護をしてみませんか？
私たちは、職場復帰を考えている看護師の皆様を応援します。

○お問い合わせ／
〒310-0015 茨城県水戸市宮町3-2-7
TEL 代 表：029-231-2371
(人事担当 萩野谷、長谷川)
看護部長室：029-233-9914
E-mail shomu310@abox.so-net.ne.jp

見学説明会を
随時受付けて
おりますので、
お気軽にご相談
下さい。



筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
茨城県厚生連 総合病院 水戸協同病院



6月13日(土)に茨城県県民文化センターにおいて、優良看護職員として、看護協会長賞を受賞しました。

この協会長賞の表彰基準は、①保健師、助産師、看護師、准看護師の免許取得後20年以上看護業務に従事しており、そのうち県内に15年以上就業している者。②就業態度が勤勉で、かつ人格が高潔であつて他の模範の者。③看護業務の啓発、看護技術の改善又は看護職員の指導養成について功績顕著な者。④年齢が45歳以上の者。などの選出基準があります。県内の看護職の方29名が表彰を受けました。

岩田師長看護協会会長賞を受賞

岩田師長にピッタリの賞ではありませんか。受賞を受けた感想を「充実した20年間を送り、毎日勤務に来るのに嫌な日は1日もありませんでした。多くの人とかかわり、自分自身も成長できました。生まれ変わっても、看護職を目指します。そして水戸協同病院で働いてきたことを誇りに思います。」と述べていました。

皆さんも顔を見かけたら、おめでとう声をかけてあげましょう。

そして他の看護職の皆さん全員にも、受賞の機会があります。



記 原田

各診療受付時間及び診療担当医師

【診療受付時間】(月～金)午前8時30分～11時00分
(土)午前8時30分～10時00分

水戸協同病院
平成21年7月1日現在

科目	月		火		水		木		金		土(第1・3・5)(第2・4休診)		備考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
総合外来	毎日 午前・午後 内科医師が診療いたします											内科医師	
総合診療科			徳田				小林(裕)						
消化器科	渡邊(宗)	佐藤(匡)	武藤 津久井	武藤	近藤	津久井	石橋 山口	佐藤(匡)	佐藤(匡)	武藤	安部井 新妻		
呼吸器内科	佐藤(浩)		植野		籠橋		佐藤(浩)		籠橋		遠藤(1・3)		
内分泌代謝・糖尿病内科	高橋		岩崎			曾根	曾根	曾根	渋谷		曾根		
循環器内科	渡辺(重) 黒田	黒田			黒田	山本			黒田	渡辺(重)	黒田(3・5)		
腎臓内科		錦		甲斐					錦				
膠原病リウマチ内科	千野			茂木	千野		千野						
神経内科	吉田												
呼吸器外科					石橋		三井		三井				
小児外科		楯川											
代謝外科						八代(2・4)							
乳腺外来	前田	手術	前田		前田	手術	前田	前田	前田	【化学療法外来】 前田(予)	渡辺(基)		*午前乳癌検診 8:30～10:00 *午後乳癌検診 14:00～15:30
整形外科	平野 【脊椎外来】 椎名(2・4) 神山(1・3) 万本(9:30～)		馬見塚 【足外来】 野澤(1) 野口 (10:00～)		馬見塚 野口 (10:00～)		平野 【手の外科】 西浦(2・4) 中山(知)		平野 阿部		馬見塚 万本 (9:30～)		*診察 午後の新患・予約外は 14:00～16:00 電話予約も可 平日の15:00～17:00に整形外科 に電話して下さい。
スポーツ整形外科	平野 【脊椎外来】 椎名(2・4) 万本(9:30～)	平野 万本	馬見塚	馬見塚	馬見塚	馬見塚 野口	平野 【手の外科】 西浦(2・4) 万本	平野 万本	平野	【脊椎外来】 金岡(不定期) 交代制	馬見塚 万本 (9:30～)		*再来で理学療法を受ける方 11:00まで受付(要予約)
スポーツコンディショニング科		小林(裕)											
脳神経外科	柴田		石川(10:00～)		柴田						坂本	相山 柴田(交代)	*受付時間 (火)9:30～12:00 (土)8:30～11:00 *木曜日休診
頭痛外来	柴田				柴田								
皮膚科	丸山						田口		丸山				
漢方外来					河村(2・4)	河村(4)							*漢方外来を受ける方は要予約/初診・再来
形成外科							中山(凱)						*受付時間 13:30～16:00
禁煙外来						津久井							*受付時間 13:30～16:00(完全予約制)
泌尿器科	小倉	小倉	小野澤(新・再) 小倉(再)		佐々木		小倉		小倉	小島(新・再) 佐々木(再)	佐々木	佐々木	*午後診察(月・金) 受付時間 14:00～16:00
婦人科					横田						水口		
眼科	佐藤 矢部	手術	矢部 真壁	コンタクトレンズ外来 【予約検査】	佐藤 矢部	手術	佐藤 矢部	【予約診察】 【予約検査】	真壁	【予約検査】	矢部 真壁		*手術/月・水 *診察(水)初診・予約のみ *コンタクト外来 受付時間 14:30～15:30 *電話での予約受付(平日)14:00～15:00
耳鼻咽喉科	青柳 手術	手術	秋月	【腫瘍外来】 (予約制) 秋月・島田	島田 秋月・青柳(交代)	検査(予)	青柳 手術	手術	秋月	予約検査 【無呼吸外来】 (予)	秋月・青柳(交代) 手術		*睡眠時無呼吸症候群外来(第2・4金) 受付時間 14:00～16:00(完全予約制)
歯科口腔外科	鈴木(新・予)	小手術	鈴木(新・予)	小手術	鈴木(新・予)	小手術	鈴木(新・予)	小手術	鈴木(新・予)	小手術	鈴木(新・予)		*要予約/初診も予約可 手術/午後
内視鏡	佐藤(匡)		渡邊(宗)				佐藤(匡)・橋本		武藤				

※(新)は新患 (再)は再来 (予)は予約 の略です。 ※学会出張等により、臨時に休診または受付時間を変更する場合があります。ご確認ください。